

## ① 履修について



### 履修（りしゅう）とは

→大学で決められた教育課程にしたがって、学ぶ事。

- ・大学の学修には、履修の手続き（＝履修登録）が必要です。
- ・履修登録し授業を受けることを含めて「履修する」といいます。履修規則に基づいて「履修」し卒業要件単位数 **124単位** を修得することにより、卒業することができます。

5

## ② 単位について

### 【単位制】

所定の授業科目を履修し、合格することで科目ごとに定められている単位を修得する制度。

### 【単位の修得】

それぞれの科目について所定の時間を履修し、試験等の方法により合格と判定されたとき初めて「単位が取れた」という状態になります。

6

## ③ 単位の認定・評価について

履修した科目の単位は、原則として第1学期または、第2学期の期末試験等に合格したときに認定されます。

（1年間通して学ぶ通年科目は第2学期末に評価・認定）

以下の基準によって、S～Eの6段階で評価されます。

### 【成績の評価】

評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数	評価	点数
S	100～90	A	89～80	B	79～70	C	69～60	D	59～40	E	39～0
合格 (単位を得られる)						不合格 (単位は得られない)					

7

## ④ 授業科目の種類（科目区分）

授業科目の種類には、以下の4種類があります。

### ① 必修科目

卒業までに必ず単位修得しなければならない科目。

### ② 選択必修科目

卒業までに必ず単位習得しなければならない科目のうち、指定された範囲で選択が認められている科目。

### ③ 履修必修科目

(経済・国際学部のみ)

履修しなければならないが、単位を落とした場合、再履修が不要の科目。

### ④ 選択科目

自分の希望で科目を選択し、単位を修得する科目。

8

## ⑤ 順次履修科目について

順次履修科目とは？ → 初級レベルから**順番**に履修しなければならない科目

たとえば・・・

- ・科目名の後に**I・II**（ローマ数字）などが含まれるもの
- ・中国語 I・II・III・IV、韓国語 I・II・III・IVなどは順次履修科目です。

順次履修科目には注意点があります！

9

## 順次履修科目の注意点

**Iに合格しないと、IIに進めません！**  
（「Iの不合格＝Iのやり直し」を意味します）

Iの成績が**S～C**・・・合格→IIに進むことができます

Iの成績が**D～E**・・・不合格→IIに進むことはできません

ただし、一部の科目には**仮進級**という救済制度が適用される場合があります（外国語・国際学部のみ）。

10

## ⑥ 「仮進級」について

Iの成績が**D**だった場合に、ひとまず**IIに進級**できます！（これが**仮進級**）

IIをきちんと学習し、**S～C**の成績を取れば、さかのぼって**Iの単位も認定**されます。😊

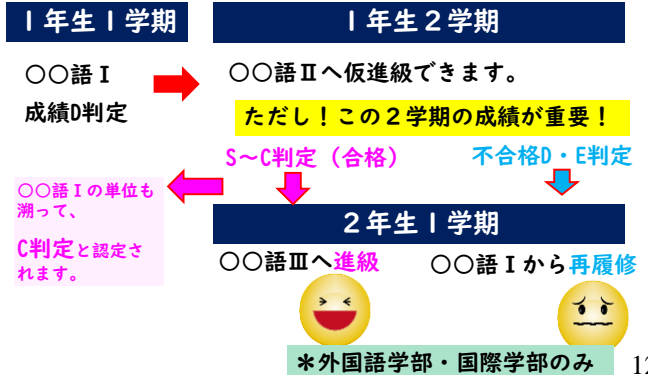
逆にIIで**D～E**を取ると、**Iから再履修**です。😞

\*外国語学部・国際学部のみ

11

## 仮進級の場合には注意点があります！

基本的に、Iは1学期、IIは2学期のみ開講となります。



12